



ダム学習のすすめ

～ダムの役割学習を通じて「防災・減災」を学ぶ～

其の1：出前講座

出前講座は、ダム職員が小学校に伺って、ダムの種類や洪水調節の仕組み等を解説します。教科書の「水はどこから」に沿って、水の使われ方や大切さをクイズを用いて説明します。また、昨今頻繁に発生している豪雨災害におけるダムの役割や、災害発生時のダムでの対応や避難の必要性についても学習します。説明後、ダム模型（職員手作り）に水を入れて、座学の復習を行います。何名かの児童の方に模型の堤体を外してもらい洪水の怖さを体験していただきます。（出前講座のカリキュラムの中では1番人気です。）

令和7年度出前講座実績

R7年6月	志波姫小学校4年生	50名
R7年6月	宮野小学校4年生	12名
R7年6月	栗原市自主防災組織代表者研修会	200名
R7年8月	おしかけ出前講座 栗駒山麓ジオパークビジターセンター	19名
R7年10月	一迫川口 滝野会	55名
	計	336名



【ダムの役割説明】



【ダム模型による実験】

宮城県 栗駒山麓ジオパーク 栗駒山麓ジオパーク事務所 general office Miyagi Prefectural Government

ダムがあれば洪水はおきないの？

ダムにためられる水の量はきまっています。ダムがいっぱいになると、ダムに入ってきた水と同じ量を、下流の川に流すことになります。これを「異常洪水時防災操作」といいます。ダムのなかったころの川と同じになるので、洪水がおきやすい危険な状態になってしまいます。

ダムからは、サイレンやスピーカーでお知らせいたします。また、栗原市から防災無線などでもお知らせしますので、川から離れて避難してください。

普段から、家族のみなさんと避難方法や避難場所を確認しておいてください。

宮城県 栗駒山麓ジオパーク 栗駒山麓ジオパーク事務所 general office Miyagi Prefectural Government

警報局からのサイレン吹鳴と放送

ダムの放流によって、下流の川の水位が急が増えるときは、サイレンを鳴らして放送を行います。サイレンが鳴ったときは、すぐに川から離れてください。

サイレン → 休止 → サイレン → 休止
(30秒) (3秒) (5秒) (5秒)

これを3回くりかえします



宮城県栗原地方ダム総合事務所

〒987-2511 宮城県栗原市花山字本沢向原11

電話:0228-56-2233



其の2：ダム見学

ダムのことを知り始めると、「ダムに行ってみたい!!」という気持ちが芽生えてきます。ダムの外観は、時間のある時に自由に見学はできますが、内部は職員引率のもとでしか見学はできません。ダムを操作する巨大な機械の見学や、何百段もある階段を降りて監査廊（ダム堤体内部）を体験しましょう。ダムの役割講座と同時に行うと、なお一層の理解が深められます。

令和7年度ダム見学実績

R7年6月	土砂災害防止「全国の集い」パネル見学	40名
R7年6月	鷺沢小学校4年生	11名
R7年6月	志波姫小学校4年生	50名
R7年8月	東北大学大学院生	15名
R7年10月	栗駒小学校4年生	37名
R7年10月	東部地方振興事務所登米地域事務所	11名
R7年10月	東北電力	20名
R7年10月	花巻市太田地区振興会	13名
	計	197名



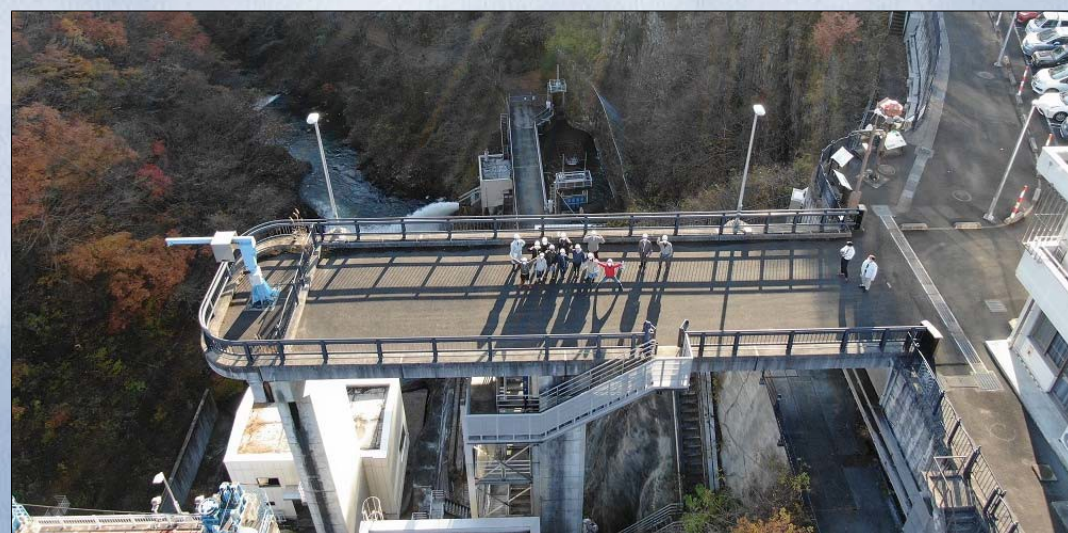
【監査廊見学】



【洪水吐ゲート見学】



【ダム堤体・湖面見学】



【ドローンでの記念撮影】

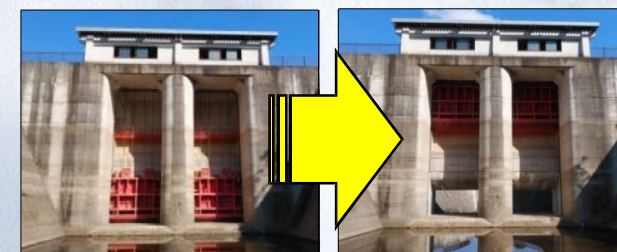


其の3：リモートダム見学

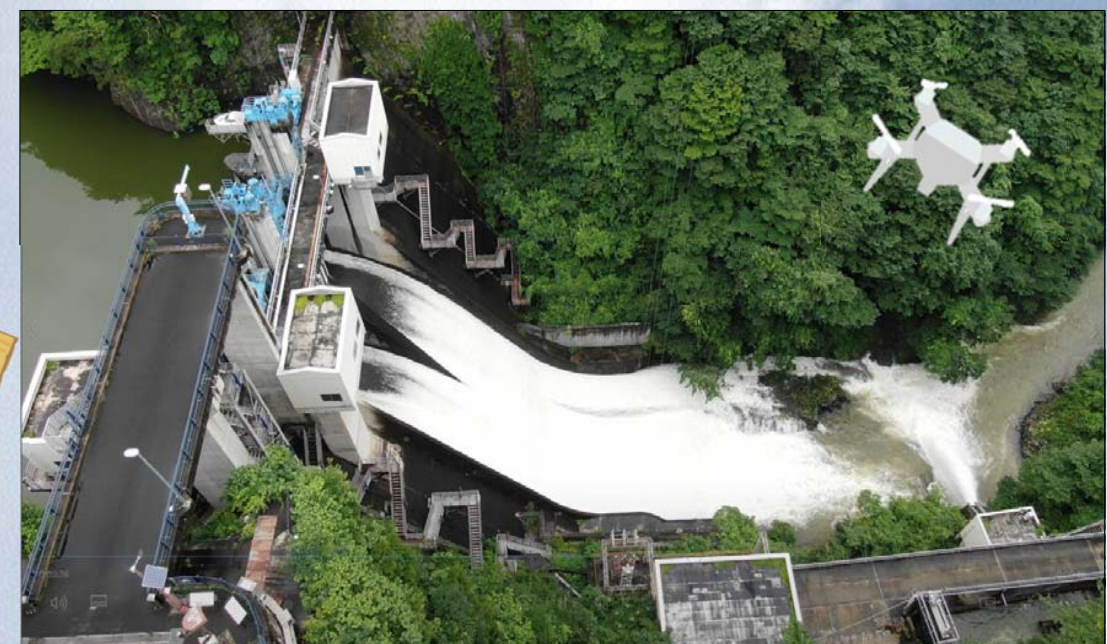
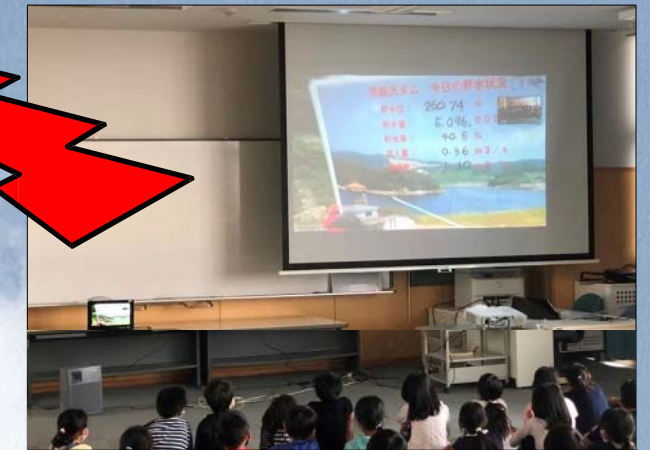
新型コロナウイルス感染拡大により、ダム見学の中止期間がありました。その間、「ダムを見学したい」との児童たちの声を受け、令和2年度からZoomを活用した「リモートダム見学」実施しております。あわせて、ドローンによる上空からのダム湖面や、放流状況の映像など同時配信による迫力あるダムの映像も体験できます。ダムまで行く都合がつかない等、小学校のご都合に合わせたリモートダム見学に対応いたします。

令和7年度リモートダム見学実績

R7年6月	宮野小学校4年生	12名
	計	12名



【荒砥沢ダムゲート操作状況】



【ドローンによる同時生配信】